

潮寿荘 大よりの 犬

平成30年10月16日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：10月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：大高 由利子(81歳)

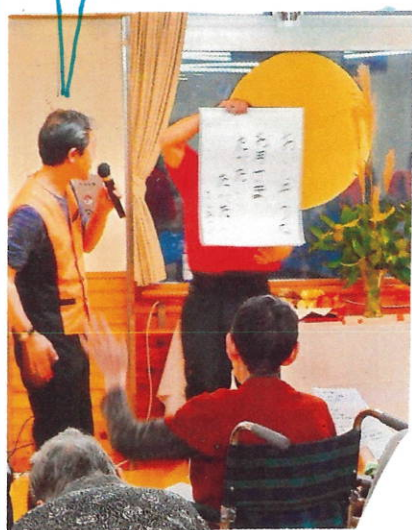


9月24日、潮寿荘ホールで十五夜のお月見会が行われました。と言っても、曇りで月は見えなかったのですが、ほぼ全員参加で、唄を歌い俳句を披露し「カボチャ団子・いももち・とうもろこし・薩摩芋」等を食べべて楽しいひとときを過ごしました。
トミさんは居眠りをしつつも大きな声で「食べたい！」と言って、いも餅を4個ペロリ。

皆さんを笑わせ盛り上がったところで、俳句第一位の発表です。
栄光の座を射止めたのはご自分で大きな声で読んで下さった眞佐子さん
「おいしそうなお月様、
食べたい食べたい」
おめでとうございます。眞佐子さんの目にはお月様がどう見えたのでしょうか？ 出来る事なら食べさせてあげたいと思いました。

(実年齢よりずっとパワフルな新人
看護師・松田)

この様に皆さんの
作品をご紹介します



★入居者★ エピソード ツフさん編



池浦 介護士
台湾から
きたさん

9月に入り涼しくなって来た今日この頃、皆様いかがお過ごしですか？
さて、今回は最近入所されたツフさんのお話をしたいと思います。
ツフさんは檜山郡上ノ国生まれで16歳の時に函館に出てきてアイスクリームディーラー屋や果物屋、弁当屋などのお仕事を75歳頃までされてたそうです。パワフルですね!!

そんなツフさん、とても穏やかな方で怒ったりしているところはまず見たことがありません。ただ、心配性なのか『私の部屋何号室だったかな？』『部屋の布団ちゃんと片付けたかな？』など話されることもあり、大丈夫なことを伝えると『そっか、良かった。ありがとね!』と、とびきりの笑顔で話されます。

むしろお話しされるときは基本笑顔です。心配事や足の古傷が痛むときは流石にしつかめっ面になります。そんなツフさんの笑顔が絶えないように早く潮寿荘の生活に慣れるよう誠心誠意お手伝いしたいと思います。
(行き先を告げず外泊すると母が嘆いてる私生活を語らぬ介護士・池浦)
☆母も潮寿荘で働いています。

11月の予定

- 2日 誕生会
- 12日 鍋会食 (薬味パイン)
- 14日 特別喫茶 (いもの塩煮)
- 23日 勤労感謝の日 バイキング
- 26日 鍋会食 (カレー)



戸井西小学校の学芸会
に行きました。

産地直の
塩田 塩の佃 ちりめん

カボチャ

いただきました!!

敬老会

潮寿荘で1番の
ご長寿 ミサヨせん



九月某日、こちららは潮寿荘特設ホール。会場には利用者さん（中には赤い頭巾とちゃんちゃんこを召した方々も）そしてそのご家族の皆さんと職員が勢揃い。時刻は午前11時30分。利用者さんの長寿と健康をお祝いする敬老会の始まり始まり。ちなみに前述の赤いちゃんちゃんこを召した利用者さんは九十歳以上の方20名。「あんだ似合うね」「あんだもだよ」とお互いの晴れ姿を自画自賛ならぬ他画他賛しあう中、会は国歌斉唱から厳かに始まりました。引き続きお祝い色紙の贈呈。これは一枚一枚に職員からのメッセージと渾身の装飾が施されている手作り感満載の色紙。お一人お一人へ施設長から手渡され、

色紙を手に記念撮影ハイ！パシャリッ。そしてキミエさんの「かんぱーい！」の音頭と共に会食スタート。太巻き・赤飯・エビフライ、焼き鳥・つくねにミモザのサラダ、枝豆・



練習で足を挫きながらも回転ジャンプ！
高橋介護士

羽生くんを越える!?
陸上フィギュアスケート



メガネを飛ばしながらも懸命に舞う石岡介護士

何を食べようかなー
静子さん



テーブルバイキング

胡麻和え、すまし汁最後にだめ押しスイートポテト。ほっぺも落ちろと言わんばかりの御馳走に皆さん笑顔の舌鼓。さあ、お腹も一杯になった所で畳みかけるように職員によるアトラクションの開幕。まずは一番手、台湾から日本の介護を学びに来たスーさん、ヤオさんコンビと顔なし（宮崎駿アニメ「千と千尋の神隠し」参照）に扮したミスターXによるダンス。曲は台湾の観光・文化を明るく紹介する「台湾で会おうね！」スーさん、ヤオさんが軽快なステップを踏む中、中央で踊るミスターXの正体に注目が。最後にマスクを取って正体を明かした高崎介護士。その意外？な正体に指を指して笑う皆さん。続いては施設長指揮による事務所職員によるトーンチャイム演奏。曲は秋らしく童謡「赤とんぼ」。演奏に合わせて「ゆうやくけこやくの」と口ずさむ利用者さんもいる中、会場



台湾においでよ!



ヤオせん スーせん ミスターX (高崎介護士)



娘さんたちと食事を楽しむサダせん

中にトーンチャイムの澄んだ音色が響き渡ります。ただ残念なのは演奏者たちはこの一曲の演奏に全精力をかけ、精も根も尽き果ててしまったため、一回のみの幻の演奏となってしまいました。いよいよステージは

最後の演目。北川相談員と石岡介護士と羽生風たすまいの新人介護士高橋による陸上フィギュアスケート。「羽生結弦」の『生命』を見事に再現しオリンピックの感動を笑いに変えてしまった渾身の演技に移るのですが、誌面の都合上字数が足りなくなってきました。その模様は残念ながら泣く泣く断腸の思いで割愛させて頂きます。ただ、これだけは申し添えさせて頂きたい。精も根も燃え尽きた中、彼らは果敢にもアンコールの声に答えて再演。それは正に魂が揺さぶられるスケータイングだった。なにはともあれ今年の敬老会も無事終了。利用者さんの長寿と健康を願うとともに皆さんの長寿に少しでも私たち職員が貢献できてゆければと願う敬老会となりました。ということ最後に一句。
言われたい「長寿の秘訣は 潮寿荘」
(それにしてもフィギュアスケートを陸上でやってしまう力技とバイタルティに感服した介護士・内村)